土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　査　名　一般国道　375号　道路災害防除事業に伴う測量調査設計業務委託（単独）

事業・工事名

調査目的及び調査対象　道路　構造物基礎

ボーリング名	Boring No.1	調査位置	広島県三次市作木町	北緯	34° 53’ 06.9422″
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	令和5年 4月17日～ 令和5年 4月18日	東経	132° 41’ 14.2942″
調査業者名		主任技師		現場代理人 / コア鑑定者 / ボーリング責任者	
孔口標高	TP 108.79m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 90° 東 180° 南 270° 西
総削孔長	4.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B / エンジン：ヤンマーNFD12 / ポンプ：丸山MS1503-A

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
1	107.64	1.15	粘土混じり礫混じり砂			暗褐灰	rd3		地表面からGL-0.35mまで舗装 砂は中～粗砂を主体とする 径2～5cmの礫を20～30%混入する		0 10 20 30 40 50 60	50以上	1.15 1.16	50/10			50/10	10						
2				安山岩		淡黒灰			CM級岩盤 L=5cm以下の岩片～短柱状コアで採取 GL-1.15mの標準貫入試験は岩盤に当り貫入不能 CH級岩盤 L=10cm 以上の柱状コア主体で採取する コア肌はなめら ハンマー打撃で軽い金属音を発する 亀裂面に一部、風化変色が見られる														4/17
3																							
4	104.79	4.00																					4/18
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							